

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 11月 17日
事業所名	前山ホームらく楽
事業所番号	2373500145
記入者名	職名 管理者 氏名 三浦 ルミ子
連絡先電話番号	0569-43-1466

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.理念に基づく運営</p> <p>1.理念と共有</p>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・「ひとり一人主役」という利用者主体の理念と共に、地域に根ざした理念を掲げ、全員が目に残る所に掲げている。</p> <p>・自己決定を大切にする、自立支援を図る、個別性を大切にする、家族との連携を大切にする、地域の一員としての生活を支援する等、5つの理念を持つ。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・日常会話又ミーティング等において把握できている。</p> <p>・利用者一人ひとりを大切にされた支援を試み、できるだけ話し合いの場を作るよう努力している。</p> <p>・日々の生活や職場でも理念を元に地域の方々と接し、利用者にも接している。</p> <p>・職員会議を行い、より良い対応が出来るように話し合っている。</p> <p>・ホーム内に掲示すると共に、事業計画にも入れて、日々取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・行事、運営推進会議において事業所の理念を伝え、理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>・地域住民を含めた運営推進会議を行うと共に、地域の行事(盆踊り、一斉清掃等)へ積極的に参加している。</p> <p>・地域の行事参加や毎日の散歩、そしてらく楽の行事へ地域・家族の方々に参加してもらうなど、常に取り組みへの協力を呼びかけている。</p> <p>・各行事に地域の方々にも参加して頂き、ホームの運営、状況、存在をアピールできている。</p> <p>・家族通信を届けて、日々の様子を伝えている。</p> <p>・各行事に地域の方々にも参加して頂き、ホームの運営、状況、存在をアピールできている。</p> <p>・町内会にも入っており、行事等らく楽のパンフレットも配り、行事参加の中でホームの説明もしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 地域との支えあい				
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道での挨拶に始まり、行事等への参加の呼びかけ等、積極的に行っている。 ・近所の方からは常に野菜等の差し入れや、ちょっとした行事にも飛び入りで参加してもらえるような付き合いがある。 ・散歩を通じ挨拶を大切に、又、グループホームへの来客も快く招いている。 ・各行事に地域の方々にも参加して頂き、ホームの運営、状況、存在をアピールできている。 ・行事がある時は近所の方に声をかけ参加して頂いている。訪ねてみえる方に部屋に아가ってもらい、お茶を飲んで頂いたりしている。 ・散歩などで外に出る時は、挨拶などをしたり心掛けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今は帰宅願望が強い方もみえるため、離設の恐れもあり常に門を開けないが、今までのように常時門を開き、地域の方がいつでもものぞいてくれるようにしたい。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事、防災、コミュニティ活動等への参加交流をしている。 ・盆踊り大会、年2回の地域清掃、コミュニティ活動などにすすんで参加し、毎年恒例となっている。 ・運動会や防災訓練、盆踊り等、行事には積極的に参加し交流を深めている。 ・各行事に地域の方々にも参加して頂き、ホームの運営、状況、存在をアピールできている。 ・近所で行き会う方に事業所の名前を言えば「ああ、らく楽さんね。」という返事をもらえるようになってきた。 		
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一斉清掃やコミュニティのクリーン運動などに参加している。 ・日常的な付き合いの中で、旬の野菜を提供してもらったり、独居の方達に呼びかけ行事に参加していただいたり、区行事への参加交流をしている。 ・地域の年2回の清掃、年1回のコミュニティ活動への利用者との参加、地区運動会へ参加などを行い、地域から協力依頼の聲がかかるようになってきた。 ・気軽にグループホームへ来て頂き、楽しい会話やお茶等を出している。 ・近隣のお年寄りが気軽に立ち寄り、その際、相談等に応じている。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1度行い、助言項目には受容的に検討し職員全員で改善に向けた取り組みを行っている。 ・全員が賞与のある月(1年に2回程度)自己評価や上司からの評価を受け、上司との面接により仕事への取り組みを考えている。 ・外部評価後、改善点に関して話し合い、迅速に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、近隣の方より土地の提供をして頂けたため、移設・増員の計画を進めている。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の写真や行事、その他の報告など、必要時にパワーポイントも利用している。また、議事録はメンバー全員に配布し、会議の内容を業務に反映させる努力をしている。 ・パワーポイントを通しての利用者の活動状況の報告、ヒヤリ・事故の報告をしている。 ・地域住民、家族へ報告を行い、理解を得ている。 ・事業計画に掲げ定期的実施することで、その都度報告を行ったりして意見を求め、サービス向上に生かしている。 	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから密に連絡を取り、状況の報告や業務の確認、書類の提出等を行っている。 ・介護保険課だけでなく、利用者を通じ社協や生保等との行き来もあり、サービスの質等について話し合う機会あり。 ・介護認定審査会や行事等を通し、市との連携を図っている。 ・都度、報告・連絡する機会あり。 ・市からの依頼で認知症講演等実施、又、市主催の研修に積極的に参加している。 	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在1名の方が制度の必要性があり、活動支援している。 ・生活保護対象者の受け入れも行き、日常業務の中で学びの場が得られている。 ・今の職場でも成年後見制度を必要とされる利用者があった。 ・個々が専門性を磨くため勉強をし、研修等にも積極的に参加している。 ・事業所全体の勉強会等で学習の機会あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の制度に関わる利用者が出てきた場合のために、学習をもう少ししていかなければならない。 ・権利擁護に関する制度を学び、理解したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>・TQMより研修参加の依頼もあり、希望者を募っている。</p>
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>・今後、事業所の移設により契約内容に変更が生じる為、しっかりと説明し、利用者・家族が望む方向で生活できるよう十分な話し合いの時間を設けたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>・事業所の移設に際し、今後の契約について早目の対応をし、利用者・家族の意向を十分に聞き、双方の納得がいくよう運営に反映させたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応窓口の設置及び運営推進会議において、発言の場を設けている。 ・運営推進会議や面会等を通し、いつでも話を聞ける状態であり、不満、苦情があれば言ってもらえる関係にある。 ・施設内に苦情窓口があり、いつでも相談にのれるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移設に向け、利用者・家族の不満や苦情が出ないように配慮する必要があるが、出た場合にはどこに言えばよいか、再度呼びかけ混乱の無いように進めたい。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話やミーティングにおいて話し合い、反映させている。 ・職員会議を行ったり面接を行い、職員の思いなど聞く機会を設けている。 ・月1回のミーティングを主に、随時話しを聞いてくれる。 ・QC活動によって、業務改善のため意見を出し合い進める機会がある。 ・人事考課票や業務管理シートの提出による人事考課が年2回、その際に希望・相談等を1次・2次面接形式で実施している。 		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせた勤務状態にしている。 ・ボランティアの協力もあり、必要最低限ではあるが確保はできている。 ・その日の流れを見越し対応可能な勤務状態になるよう努めている。 ・常勤職員だけでなく非常勤職員の協力も大きく、柔軟に対応できている。 		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのダメージを防ぐ配慮は出来ているが、その分職員への負担が多い時がある。 ・日常会話やレクの際に、紹介や説明をすることで利用者への情報提供をしている。 ・比較的職員の退職や移動が少なく安定している。 		
5.人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修や外部研修等、多く学べる機会を作っている。又、OJTも勤めている。 ・施設内研修が全体会議時に組まれている。 ・施設外の研修の案内もその都度提示され、希望すれば受けられるようになっている。 ・職員ミーティングの際、その時期に合わせた勉強会を都度行い、全員のレベルアップも図っている。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会に入会・参加し、各委員会にも積極的に参加している。 ・相談委員会（南部地区）の意見交換会等へ参加し、交流をはかっている。 ・法人内の研修や交換研修等を行い、サービス向上を目指す取り組みをしている。 ・内覧会などを通じ交流の機会をみつけ利用者を連れての参加も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院主催の地域福祉施設との連携協議会にも参加しているため、南知多病院主催の医療・介護連携強化会議にも参加し、今後も医療チームとの交流を積極的に行っていきたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外に食事会等の機会を作り、又、希望者は法人内のストレスケアにも参加している。 ・面接を行い、職員の思いを聞きアドバイスをしてくれている。 ・ストレスケアが定期的に設けられ、希望すれば受けられるようになっている。 	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内各委員会参加、自施設内でのミーティングや行事等を通じ、チームワーク作りをしている。 ・人事考課表や業務管理シートの提出による人事考課が年2回、その際に希望・相談等を1次・2次面接形式で実施している。 ・賞与にも勤勉手当等あり、向上心を持たせる働きが見られる。 ・人事考課の面接などで個々が働きやすいように意見等も聞いてもらえる。 	
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ利用者・家族が困ってる事、不安な事を聞き、体験してもらい無理な入所に持ち込まない。 ・コミュニケーションをとり、話す機会をたくさん作っている。相談や困った事があった時には、管理者・職員に知らせる様にしている。 ・家族も含め、見学时、面接時、十分に時間を確保し、話を聞くようにしている。 ・バリデーションをしっかりと行いコミュニケーションをとり、本人の困っている事等、その都度聞き、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移設による環境の変化で起こる利用者の不安に、しっかりと対応していけるよう準備をしていきたい。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ利用者・家族が困っている事、不安な事を聞き、体験してもらい無理な入所に持ち込まない。 ・家族も含め、見学・面接時に十分時間を確保し、話を聞くようにしている。 ・初めの契約等でしっかりと説明し、家族からの要望や困っている事も聞く体制を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移設により新規契約を結ぶ為、現在利用している方の家族との話し合いをしっかりと行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ（居宅・施設）等を含めた話し合いを重ね、サービス利用を提案している。 ・担当のケアマネも含め、現在問題となっている部分と話し合い、当ホームだけでなく、他のサービスで対応できる部分については担当ケアマネへ依頼し対応している。 ・個人に合ったサービスを家族の方、利用者も含め工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移設により利用者定員の増加を行うため、相談された段階から家族の不安を取り除き、利用者それぞれの状況に合った施設の利用を助言できるように近隣の他福祉施設や医療機関の情報収集をし、しっかりと意向を汲み取れるようにしたい。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ（居宅・施設）等を含めた話し合いを重ね、サービス利用を提案している。 ・体験後、本人・家族の意見や要望を聞く機会をつくり、できる限り工夫している。 ・すぐに本人所していただくのではなく、本人所前にご本人や家族に見学を行ってもらい、その後ショートステイでお試し期間を設け、納得して頂いた上で本人所の運びをとっている。 ・個人に合ったサービスを家族の方、利用者も含め工夫している。 		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・得手を見つけ、残存機能を発揮できる機会を作っている。 ・朝や夕方の着替え時、一緒に手作業している時間に今までの生活層が出て来ることが多い。 ・散歩したり、一緒に食事を作ったり、利用者と共に同じ作業、同じ時間を過ごすことで信頼関係を築いている。 ・自分のできることは過剰に介護したりせず、残存機能を活かし、利用者同士支えあう関係作りを心がけている。 		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時だけでなく、家族通信等で行事への参加も呼びかけ、相談事もしっかりと聞いている。 ・家族通信や電話などで利用者の近況を知らせている。 ・できる限り利用者の様子をご家族にもお伝えし、利用中の状況を把握して頂くようにしている。 ・面会、外出等を通しその時間内にあった出来事を聞き、共に支えあう関係ができています。 ・外出、外泊、病院受診など、家族の意向に沿えるよう、又、利用者と一緒に積極的に関わることを推奨している。 ・運営推進会議で、日頃の様子をパワーポイント等で紹介している。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		<p>・馴染みの場所（墓参り等）に外出の際連れ出せるような工夫をしていきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り利用者本人の意見を聞き入れ、支援している。 ・本人の希望に添えるよう努力し、職員間での話し合いもしている。 ・利用前に本人・家族等からの情報収集により、以前の暮らしのパターンに近づけるよう努めている。 ・コミュニケーションをとり、思いを聞くように努めている。 ・現在の生活への不満、不自由がないかスタッフの聴き取りを記録に明確にし残す。 ・本人と話す時間が持てている。 	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ(居宅・施設)等とのコミュニケーションを図り、情報収集・本人把握に努めている。 ・利用者の記録をスタッフ全員で共有し把握している。 ・利用前に十分アセスメントし、これまでの暮らしに近づけられるよう努力している。 ・個人記録を読んだり、本人に昔の事を聞いたり、上司に聞いたりしながらわかる様に努めている。 	<p>・煙草を吸われる方もいるため、今後も家族の協力も得ながら対応したい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様子観察は一人ひとり気をつけ、常時見守り、声かけを行っている。 ・利用前に十分アセスメントし、これまでの暮らしに近づけられるよう努力している。 ・申し送りを聞き、一人ひとりの様子を見ながら現状を把握する様努めている。 ・AM中はレクリエーション等で参加された時、食事時間等の様子、入浴時の心身チェック等を記録や申し送りしている。 ・日々の会話や行動、心身状態を個人記録に記載し、確認を行っている。 ・ケアプラン等を確認している。 ・心身の状態、病状に合わせた対応を心掛けている。 	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ等を含めた話し合いを重ね、サービス計画を提案・作成している。 ・面会を促したり電話で状況を話したりする他、医療関係者とも密に話し合っている。 ・主治医への連絡、受診など密な関係を持っている。 ・ミーティング等で積極的に話し合い、家族・本人の意見を反映しながら計画作成している。また、現状に応じた個人ケアの検討会がなされている。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ等を含めた話し合いを重ね、情報提供やサービス利用を提案・支援している。 ・本人の状況を把握した上で、必要時、必要なサービス機関との連携がとれている。 ・利用者が元利用していた他事業所のケアマネ等とは定期的に情報交換をしており、ご本人により良いサービス利用の支援に努めている。 ・積極的に地域の連携を図るための連絡協議会等の話し合いに参加している。 		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議や行事への参加を依頼し、また、必要時情報提供を行うことで、施設内の把握をして頂き助言頂いている。 ・交流の場での情報交換は行っている。 ・常にこちらの情報を入れ、指導をおおいでいる。 		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の往診、又は家族との3者受診等の支援体制作りをしている。 ・あくまでご家族の希望やかかりつけ医との連携を大切にしている。 ・常にかかりつけ医を確認し、往診も月に1度行ってもらっている。 ・これまでのかかりつけ医との関係性を把握し、持続させている。状況に合った受診も都度行っている。 ・家族の了解も得てかかりつけ医が決まっている。 ・早期発見に努め、かかりつけ医に相談後必要に応じた医療機関への対応を行っている。 		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の往診、又は家族との3者受診等の支援体制作りをしている。 ・受診の際には現場スタッフも入り、個々の記録と経過をしっかりと把握した上で治療を受けられるようにしている。 ・認知症に詳しいドクターからの指示や、研修等も行っている。 ・本人の状況、家族の希望に合った医療機関を選択し、対応している。必要に応じ、Dr.への情報提供も行っている。 ・心療内科や精神科を受診し、その際職員が同行・相談している。 		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の往診、又は家族との3者受診等の支援体制作りをしている。 ・グループホーム内在勤の看護師による健康管理を行っている。また、法人内の看護職員にも協力を得ている。 		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭医として契約頂き、月1度の往診、検査、指導や情報提供などにより、連携・協力をして頂いている。 ・ケアマネを通し、病院との連携をとっている。 ・入院したときのマニュアルやターミナルケアの研修も取り組んでいる。 ・入院になる際は、サマリーの提出等で情報提供している。又、入院中も、状況把握のため病院へ出向き、病院関係者から情報収集している。 ・協力病院との3者協議、早期退院に向け情報提供・相談に努めている。 ・病院（市民病院等）が中心となって開催している連携会議に参加し、情報交換や相談がしやすい関係を築いている。 		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に『事前指定書』を記入して頂き、本人、家族の情報・意見を提示して頂いている。 ・ご本人、ご家族の希望を聞き、しっかりとかかりつけ医と話し合い、スタッフがどこまで援助（ケア）できるのか話し合いの場を持っている。 ・ターミナルケアについての知識も学ぶ機会を設け、又、家族の方との話し合いもしっかりできるようにしている。 ・ご本人と家族の意志を口頭、書面で確認し、全員でケア統一に努めている。 		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自施設で可能な範囲や、必要なサービス・医療などを提示することで、出来る限り本人・家族の意向に沿ったケアを提供している。 ・日々をより良く過ごせるよう協力し、本人の自己決定を大切に支援をしている。 ・ホームで出来る事・出来ない事を職員間で話し合い、家族・本人に説明し納得して頂いた上でケアを行っている。その間、かかりつけ医とも十分連携が取れるよう情報提供している。 		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な話し合い、納得のもとで住み替えのタイミングを図りながら、ダメージのないよう努めている。 ・別の居所への移り住みについても本人、家族の方ともしっかり話し合いをし、お互いの同意のもと行っている。 ・ケアカンファレンス等に参加し、情報提供している。 ・本人、家族、ケアマネ等を含めた話し合いを重ね、情報提供やサービス利用を提案・支援している。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの利用者に合った声かけを常に考えている。 ・一人一人のプライバシーを大切に、秘密保持をしっかり守っている。 ・生活暦を把握した上で、その人に合った対応をしている。 ・プライバシーの保護に努めている。 ・個人に合わせた対応を心がけている。 	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ早目に行事予定や外出予定、ご家族との外出予定などを話し、ご本人はどうしたいのかを前もって聞いておく。 ・本人の話を最後まで聞き、その後で納得できる話をする事ができている。 ・わかりやすい内容で、噛み砕いてその人に合った方法で説明し、納得頂いている。 ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、個人の力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・やわらかい言葉で表現し、納得してもらったり判断してもらっている。 	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のレクリエーション時、入浴の時間の声かけはさせてもらうが、できるだけご本人の希望に沿って過ごしてもらっている。 ・一人ひとりのペースに合わせ、無理を押しつけないケアをしている。 ・生活暦を考慮し、共同生活でありながらも個々のペースを重視している。 ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望に沿った対応・支援を行っている。 ・本人の体調や気分を考慮し、毎日を過ごしている。 	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族がみえた際に美容院等の利用をどうするか伺い、本人の希望で日程を決めている。 ・本人の身だしなみをなるべく尊重し、理髪等も家族の力の協力を得て、自由に行ける体制をとっている。 ・入居時、今まで使っていた服や化粧品等持ち込んでもらい、使用して頂いている行きつけの美容院がある場合は、ご家族の協力を得ながら通ってもらっている。 ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望に沿った対応・支援を行っている。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ること、出来ないことを見極め、ケアプランに乗せた自立支援を実施している。 ・好きな食べ物を聞いたり、一緒に準備や食事、片付けをしている。 ・利用者の生活力を見極め、できることは積極的に参加して頂き、利用者の意見も取り入れながら作業している。 ・できることは自分でやるよう支援し、食事どうしても嫌いな物があつたら代替も用意している。 ・その人が出来ることで食事の準備に携わってもらっている。 ・利用者に声をかけ一緒に準備、片付けをしている。 		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ること、出来ないことを見極め、ケアプランに乗せた自立支援を実施している。 ・コーヒーや紅茶を飲んでもらったり、ケーキやお饅頭などを出し楽しめるよう工夫している。 ・健康を脅かす嗜好品についてはなるべく避けるようにしている。 ・本人の状況に合わせて、最大限自己決定を大切にしている。(煙草等) ・利用者の好みの食事やおやつを作り楽しめるようにしている。 		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・変化があればその都度ケース検討し、プラン変更しながら自立支援・対応をしている。 ・排泄パターンを把握し、本人の声、動きなどに気をつけトイレ誘導したり、できる限り自立できるよう支援している。 ・排泄による不快感(失禁等)を取り除けるよう努めている。 ・やむを得ない場合のオムツ使用を除き、なるべく普通の人と同じ下着等をつけてもらっている。 ・個人記録に排泄チェック表が設けられ、職員ができるだけ同じケアができるよう、又、ご本人に良い排泄ケアが何かを常に考えている。 ・尿パット使用の際は、本人の排泄用途に合った物を検討し、使用している。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・管理能力のある方には、小銭程度を自己管理していただいている。 ・ご家族とも話し合い、ご本人が最低限必要とされる額のお金を所持されている方もあり、ご本人の希望で管理させてもらっている財布より希望額（使用目的に応じ）出す場合もある。 		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・職員が外出する際、一緒に出かけたり、散歩も天候が良い日は日課的に実施している。 ・毎日の散歩の他にも天気が良ければドライブにも出かける。 ・希望に沿って一緒に買い物へ行ったり、ドライブに行ったりしている。 ・ご家族にも協力して頂き、家族との外出も勧めている。 		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・季節の花を見に出かけたり、みかん狩りに出かけたり、外食に行ったりと支援している。 ・本人の希望や家族の方との外出も含め、個性を大切にしている。 ・季節折々の外出計画が年間計画に組まれていること、またご家族の誘いで定期的に外出される方もあり、支援している。 ・季節に合った行事計画を立て、利用者や家族と外出している。 		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・本当に必要な場合には自己決定を大切に、電話を利用してもらい、支援している。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶やお茶だしの際には本人だけでなく、職員も積極的に関わり、気軽に話しかけられる環境作りを心がけている。 ・お部屋でゆっくり過ごしてもらったり、リビングで過ごしてもらったり、居心地良くいられるよう気をつけている。 ・入居時、積極的に面会して頂くよう説明している。ゆっくり面会できるよう、時間制限は極力していない。 ・職員一同、誰が来ても快く迎え入れている。 ・ご自分の部屋でゆっくり話しされるのもよし、また、リビングで他の利用者の方と話しされるのもよし。気軽に訪問してもらえよう支援している。 ・部屋の清潔に心掛け、お茶だしなどしている。 		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内、及び外部研修において学習する場を設けたり、職員同士情報共有し、理解に努めている。 ・身体拘束は行っていない。 ・事業所の勉強会に参加し、実践している。 ・定期的に研修を行っている。 		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・危険、事故等を考え、必要な場合は鍵をかけることもある。 ・利用者に帰宅願望の強い方がみえるため、鍵をかけざるを得ない状況もある。 ・職員の人数やお年寄りの状況で鍵をかけてしまう時がある。 ・“鍵をかけないケア”について理解できているが、現在、興奮状態で離脱の危険がある利用者があるため、やむを得ず施錠している。 ・外に出て2m近くある柵を乗り越える利用者もいるので、鍵をかけなければならない時もある。 ・離脱の危険がある場合、日中でもやむを得ず玄関の鍵をかける事がある。 		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・昼には職員同士又は家族との連絡を密にとり、夜間は適宜巡視を行うことで、利用者の状況把握に努めている。 ・転倒などの防止の為、様子観察、見守りを行う。 ・職員間で声をかけあい、利用者の所在を明らかにしている。 ・昼は約3人、夜勤は1人で対応しているが、できる限り安全に配慮してもできない時もある。 ・常に所在確認し、安全に配慮している。 ・ヒヤリはつとを積極的に出し合い、事故防止に努めている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員一同の能力を上げ、安全に配慮できるよう努める。


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや日々の記録から本人の状況を把握し、又、ヒヤリハットや事故報告書を元に、外部評価からの情報を参考に利用者個人に合わせた安全な環境整備に努めている。 ・針や包丁の使用、ハサミなど1人ひとりの能力に応じ、できる限り職員も一緒に見守りし、チェック表(使用チェック表)の活用もして危険防止に努めている。 ・気づいた職員が、他の職員に声かけし、気をつけている。 ・事故や災害に至らないよう保管し、必要時いつでも取り出せるようにしている。 ・注意の必要な物の置き場所を変えたりしている。 		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや日々の記録から本人の状況を把握し、又、ヒヤリハットや事故報告書を元に、外部評価からの情報を参考に利用者個人に合わせた安全な環境整備に努めている。 ・職員が声をかけあいながらお年寄りの状況を把握し、事故防止に取り組んでいる。 ・起こりうる事故等に関しては、職員間で話し合い、防止に努めている。 ・できる限り取り組んでいるが、夜間等職員が1人の時はやはりできないこともある。 ・職員間で話し合いや連携を取り、事故防止に取り組んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・過去の事故報告等を見返す機会を作り、再発防止を心掛けたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修や外部研修に参加し学習し、また、施設設備の設置場所や使用方法の確認を行っている。 ・事業所の年間計画に組まれており、自主的に参加できるようになっている(資料を配布し、各々いつでも目に見えるようにしている)。 ・マニュアルがある。 ・起こりうる事故に関しては、職員間で話し合い、防止に努めている。 ・研修等を通し、勉強しているができるかどうかは不安である。 ・研修を行っている。 		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練や炊き出しの際には、消防署への連絡と協力、家族への参加呼びかけ等を行い、運営推進会議の際に報告している。 ・区防災訓練や行事等への参加を行い、連携体制の働きかけを行っている。 ・定期的に避難訓練を実施、また、地域の避難訓練にも参加している。 ・避難訓練や緊急連絡網も作成し取り組んでいる。 		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、ケアマネ等を含めた話し合いを重ね、情報提供やサービス利用を提案し、計画を立案している。 ・転倒防止などのため他の利用者家族の工夫を説明し、ご家族の判断で対応してもらった例がある。 ・ヒヤリハットの提出やリスク委員会等でしっかり対応・改善し、再発防止に取り組んでいる。 ・その都度家族へ連絡している。 ・今後起こりうるリスクについて、早期に家族へ説明し、理解いただいている。 		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話やその時の表情、個人記録、個人情報を中心に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の状態に合わせた対応・支援を行っている。 ・個人記録、業務日誌、申し送り等にて毎日の体調変化に速やかに対応できるよう努力している。 ・声かけや様子観察、又、入浴時での身体チェックにより申し送りし、情報を共有する。 ・在勤している看護師へ体調の変化を申し送り、必要時、医療機関へ早期に受診し対応している。 ・様子観察は常に行い、入浴での身体状況等、変化のあった場合は「報・連・相」を心がけている。 ・職員間で情報を共有し、必要があれば受診する。 		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の服薬をわかり易く収納・記名し、それぞれの服薬内容を一覧にしている。また、処方箋の収納場所を全職員が把握している。 ・かかりつけ医より処方箋個人一覧表ファイルがあり、また看護師作成の個人別マニュアル表もある。個人記録や業務日誌等にも症状の変化による薬の支援法等、誰でも確認できるようになっている。 ・利用者と声を掛け合い、職員同士確認して行っている。 ・薬が変更したときなど、申し送りがあり、確認できるようにしている。 ・服薬の管理も一人ひとりが心がけ行っている。 		・理解できていないこともあるので、随時勉強会を開いていきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士ケアプランの共有を行い、利用者の食事の工夫、散歩・レクへの参加等を促している。 ・水分補給の回数を個々によって増やし、毎日のレクリエーション時の体操、散歩等を勧めている。 ・牛乳を飲んでもらったり、運動・散歩へ出かけたり、腹部をマッサージしている。 ・便秘予防も兼ね、毎日の体操、水分量チェック、散歩等行っている。食事も野菜中心で食物繊維を取り入れている。 ・毎日の散歩や食事、飲み物にも1人1人が配慮している。 ・必要時、看護師が摘便を行っている。 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの共有、個人記録への記載、職員間の情報交換・申し送りにより利用者個人の力に応じた支援を行っている。 ・全面的に介助が必要な人のみ1対1の介助ができています。 ・自立している方には声かけ、支援しないといけない人には支援しながら対応している。 ・1人1人が個人の歯ブラシを持ち、毎食後口腔ケアを実施し、介助が必要な方は、一緒に実施している。 ・必要時、歯科受診をしている。 		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの共有、個人記録への記載、職員の情報交換・申し送りにより、利用者個人の力に応じた支援を行っている。 ・食事以外の時間の水分補給は個々に合わせ、できるだけ多く摂れるように内容も工夫している。 ・食事量、水分量を個人記録に記入、栄養バランスが誰が見てもわかるように献立表に食材を記入。 ・介護記録にしっかりと書き、状況を把握できるようにしている。 ・苦手な食べ物は他のおかずに変えるなどしてバランスを確保している。 		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修への参加やマニュアル作成により、職員が把握、実行できるようになっている。 ・インフルエンザの予防接種は毎年行い、手洗い・うがい等も行ってもらっている。 ・予防や対応の取り決めを書き出し、誰もがわかる様にしている。 ・感染症マニュアルが常にみられるようになっており、また、流行の兆しがある場合は本部よりの資料をもとにミーティングがなされている。 ・研修で学習し、実行している。 		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人栄養士の協力も得て行事・管理を行ったり、法人内の研修の参加をして学習している。 ・食中毒には職員1人1人が気を配り、常に新鮮なものを食べてもらっている。 ・調理用具等は、使用后殺菌用洗剤等で消毒している。 又、直接食材を店へ注文し、新鮮なものを定期的に配達してもらっている。 ・キッチンハイターで消毒するなど衛生管理に気をつけ、常に新鮮な食材を使う様心がけている。 ・夜勤帯にてまな板、布巾、台拭き等の消毒にも努めている。 ・常に食材購入(仕入れ)先と連携をとっている。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の草花や物、行事の写真等を掲示している。 ・安心だけでなく安全な玄関に工夫をしている。 ・スロープ・手すりの設置、又、玄関周りは季節の草花を育て、明るイメージにしている。 ・今まではオープンに門も開いていたが、現在“帰宅願望”の強い方が入所されており一部門にも鍵がかかっている。玄関にも開くとブザーが鳴るようなスイッチが入れている場合がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・離説の問題があり、門も閉める状況もあるが、なるべく近隣の人等が出入りしやすいよう考えていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・台所とリビングが同一空間になっており、調理の音や話し声が聞こえる。又、利用者と共に調理出来ている。 ・季節に合わせた飾り物や暖房器具をそろえ、共用空間をよりよくなる工夫をしている。 ・場所毎の表記及び案内の表記と、トイレ・浴室等は、設置で補えなかった部分はカフェカーテン等でプライバシーの確保がされている。 ・毎日掃除を行い、気持ちよく過ごせる様にしている。季節の花を飾ったり、季節に応じた飾り物を作り工夫している。 ・居間で過ごされる時間が多いため、テレビの音量などにも気を配っている。また、利用者の生活写真などを廊下等の目に入る場に掲示したり、季節の作品を展示したりし、雰囲気作りが心にかけている。 ・食堂のテーブルに花を飾るなどして季節感を取り入れている。 		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の椅子や3人がけソファ等の設置があり、思い思いの場所や姿勢で過ごせるように工夫している。 ・各自部屋があり、独りになれたりリビングに集まり、みんなで過ごせる場所がある。 ・狭い共用空間ではあるが、台所の部分とソファ部分を利用者の方が好きなように使ってもらえるように心にかけている。 		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族からの情報や生活歴を参考に、可能な限り工夫をしている。 ・本人の自己決定を大切に、使い慣れた物等は自由にしている。 ・入居時に親しみのあった物を持ち込んでもらうよう説明し、使用してもらっている。又、新品の日用品や家具でなく、中古で親しみのある物をホームでも使用している。 ・ご家族の訪問がある場合、又、家族通信等を通し、ご家族への呼びかけ、相談に努めている。 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の掃除時、又、1日何回か居室換気に利用者と共に努めている。 ・居室では利用者がいない間は窓を開けておくなどの方法をとっている。 ・常に換気には留意し、都度行っている。又、必要以上に室温を上げ下げせず、利用者とも相談しながら調節している。 ・その時々に応じ換気をし、利用者の状況に応じ温度調節をこまめに行っている。 		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家改修による施設であり、家族と同様の住まい作りをしている。 ・一部の段差等に関しては工夫し、他はバリアフリー作りをしている。 ・手すりや滑り止めマット等、誰にでも起こりうる事故等に対する配慮がされており、必要以上に整備されていないことで自立度upにつながっていると思われる。 ・日中は玄関の出入りもあり、段差をつけているが、夜は取り外し可能な床板を使用し段差をなくし、危険箇所はバリアフリーにするなどしている。 		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・トイレや洗面所等の張り紙をし、自ら見つけ出したり行動したりするよう支援している。 ・個々の能力を見極め、できることに注目しレベル低下の予防、及びレベルupを目指している。 ・洗濯物をたたんでもらったり、お茶をついでもらったり、個人の持っている力を活かしてもらえる様に声かけしている。 ・居室入り口に写真入りの表札がかけてある。 ・本人に無理のない、出来る範囲での生活を送ってもらっている。 ・各々のレベルを把握し「できない」部分に焦点をあてて介護するよう努めている。 		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮しつつ、地域の方や馴染みの方からの花の差し入れ等を利用して、利用者が楽しめる環境作りに配慮している。 ・天気のいい日には外でのレクリエーションを行ったりと、敷地内の空間を利用している。 ・庭や畑を利用し、季節に合わせた作業やレクリエーションを行っている。 		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域に根ざした施設運営を心がけ、隣接する町内の方々や前山区と一緒に取り組む行事（一斉清掃、夏祭り、歩こまいか大会、防災訓練、市民体育祭等）に、利用者と共に参加し、又、家族・ボランティアの協力を得て、らく楽内で運動会、避難訓練、炊き出し、運営推進会議、敬老会や餅つき大会等の行事を行うことで、信頼関係作りも重視し、住み慣れた町で当たり前の生活を楽しんで頂けるよう支援している。
- ・年金やその人のレベルに応じて、職員が一方的にケアすることなく自立を促し、その人らしさや生活レベルが低下しないよう努めている。また、その人の健康状態、病状の変化に応じて関係医療機関との連携を密にしている。
- ・地域住民との関わりを大切に、行事毎に参加を促し、ホームの状況・利用者の様子を把握して頂き、必要時協力が得られるよう努めている。
- ・職員全員のケアの統一を心掛け、日々の記録・申し送りを充実させている。
- ・市民病院主催の連携協議会や、愛知県グループホーム連絡協議会等に参加し、医療施設や他施設との連携を積極的に行っている。